

かがやき☆きただより 2018. 秋号

社会福祉法人かがやき神戸 北区事業所発行



〒651-1243

神戸市北区山田町下谷上

西丸山20-30

TEL 582-5544

発行責任者：松本 多仁子

障がい者も健常者も一緒に暮らし、働ける社会の実現へ

* 災害の時に、障がい者は・・・

はじめまして、この度、当紙の巻頭言を書かせて頂く、松田と申します。昨年4月に西区より異動して参りました。今年は大雨、猛暑、台風と異常気象が立て続けに起こっています。その度に、施設を閉所したり、グループホーム等の見回りに走ったりと、大忙しでした。

東日本大震災では、障がい者の方の死亡率が健常者の2倍でした。災害などの時に障がい者の暮らしはより一層困難になります。そして、その後に、集団生活ができず避難所にいられなくなったり、仮設住宅がバリアフリーでなかったりと、災害後の生活も、多くの生きづらさが待ち受けています。

この7月の西日本豪雨の時には、筑紫が丘の土砂崩れを受けて、グループホームの人たちが3日間、施設で避難生活を送りました。最初はいつもと違う状況にみんな、落ち着かない感じでソワソワしていました。災害時の避難では災害への恐怖と後先が見えない不安は、皆一緒ですが、今回の避難は、障がいの配慮した建物であったことや慣れた場所であったことで、何とか3日間を過ごすことができましたが、これが通常の避難所だったら、どうだったのかと考えさせられました。

* 守られていなかった法定雇用率

また、最近、中央省庁や各自治体で障害者法定雇用率（法定雇用率とは、企業や行政は雇用者に対して概ね50人につき1名程度の障がい者雇用が必要となります）を水増ししていたというニュースがマスコミを賑わせています。何と中央省庁だけでも3000人以上の数字を水増ししていたという事実を聞き愕然としています。

私は前部署にて障がい者の就労支援を行っていました。企業は本当に積極的かつ丁寧に障がい者雇用を進めています。そこには法定雇用率を満たし罰則からのがれるためだけでなく企業の持つ社会的責任を遂行しようというポリシーを感じました。こういった報道を聞くと、本来、先頭に立って障がい者雇用をするべき行政が障がいのある方の雇用の機会を奪い、その上、ウソの報告をしていたという事を本当に残念に思います。

* 誰もが安心して暮らせる地域へ

雇用や防災を語る中で、障がいのある人たちが、疎外されないようにと願います。そのためには日頃より、障がいの有無にかかわらず、日常的に触れ合うことが必要なのではないでしょうか。特別な交流でなくても、近所を歩いていたら挨拶をしあうというあたりまえの交流が大事なのだと思います。その機会の一つとして、11月10日に広陵小学校で22回目の地域ふれあいまつりを開催します。年齢・性別・立場・障がいのあるなしに関わらず、多くの方々と出会い、ふれあい、楽しい1日を一緒に過ごしませんか。皆様のお越しを心よりお待ちしております。

（かがやき神戸事務局次長 松田崇介）

第22回地域ふれあいまつりのご案内

～ふれあう・つながる・笑顔の輪～

今年も、地域ふれあいまつりの準備が始まる季節となりました。

今年で22回目を迎えることができました。このおまつりは広陵町、筑紫が丘、小倉台、桜森町の4つの自治会、地域のみなさまと北区の事業所とともにつくりあげていく「福祉のおまつり」。

準備をする中で、地域に新しくできた事業所が「参加したい」の声、舞台上「高齢者体操をしたい」の声、会場をかしてくださる広陵小学校の先生が笑顔で迎えてくださり、準備も大変ですが、みんなで盛り上げていきたいという気持ちです。13日の第1回実行委員会では、40名の方がご出席、ご意見も活発にだしていただき、全員の自己紹介、おまつりの内容を確認しました。

第2回目の実行委員会は10月18日（木）16時～17時でかがやき北本施設 とまり木2階でおこないます。みなさまのご参加をお待ちしています。

当日は天気になりますように、みなさまてるてる坊主をお願いします。(^^♪

【ふれあいまつりの目的】

① まつりを通して年齢や障がいの有無など関係なく、誰もが楽しめるおまつり

② 福祉をテーマに、楽しく交流し体験するおまつり。

子供や高齢者の方、障がい者の方はもちろん、全ての住民が安心して暮らせる街づくりへとつながるおまつり。

③ 若い人たちが地域づくりに関心を持ち、参加したくなるきっかけづくりのためのおまつり。



前回のまつりの
ようす



第22回地域ふれあいまつり
事務局長 松原佳奈

第22回地域ふれあいまつり

平成30年11月10日（土）10時～14時

場所：広陵小学校にて

主催：第22回地域ふれあいまつり実行委員会

後援：広陵町自治会、筑紫が丘自治会、小倉台自治会
桜森町自治会

事務局：社会福祉法人かがやき神戸北事業所

グループわ 里山和楽会～道満 俊徳さん～



みなさんは「かがやきの森」を歩かれたことがありますか？
今回は、この「かがやきの森」を里山として整備し続けて下さっている、里山和楽会の道満さんにお話しを伺いました。

Q、この活動を始められたきっかけは？

「今から 11 年前、かがやき神戸の松本副理事長に『かがやき神戸の山を整備できる人はいませんか』と声を掛けられました。シルバーカレッジの卒業生に声をかけたら、15 人の仲間が集まり、里山和楽会として整備することになりました。」

Q、当時の様子を教えてください

「山が好きな仲間が集まりましたが、もちろん全員素人です。里山整備を始めるにあたり、何度も話し合い、方針を決めました。」

かがやきの森は施設側から弓削牧場の方面に向かって Y・G・R・B・W と 5 つのゾーンに分かれています。1 区画（約 6 千平米）を 1 年かけて整備再生して、5 年間で里山林の整備が完成しました。その後は保全作業に入り、今年 11 年目で第三次保全作業が終了しました。この保全活動を継続しないと森は基帰りし、放置林になります。しかもかがやきの森は住宅に隣接している里山です。近隣の事を考えますと、継続作業は必要な事と思います。」

Q、整備以外にも活動はされていますか？

「はい。イベントの依頼はよく受けます。当然それには里山活動の副産物である諸物（樹木、葉、実）と場所（里山）で応じるようにしています。春と秋は自然観察会、ドン

グリや松ぼっくりなどでのネイチャークラフト工作、木こり体験といずれも児童を対象に年数回開催しています。開催場所は小学校、保育園、幼稚園、しあわせの村など。その中でも一番の催事は年二回春、秋に地元小学校の三年生（約 100 名）に対して 1 日だけの“環境教育・体験編”の授業です。毎年学校・学童には大好評です。また、この授業も早 11 年目になり、当初教えた学童は今大学生です。そのなかの何人かが生物・植物の研究者になればなあ！とひそかに期待しています。」

Q、現在のかがやきの森について教えてください。

「平成 26 年の環境省生物多様性保全上重要な里山 500 選にかがやきの森が選ばれました。他に選ばれた里山は行政が関わっているような規模の大きいもの。地図にも載っていない里山として選定されたのはこの、かがやきの森だけです。専門家からも『プロのようなことをしている』と評価をいただきました。大変嬉しいことです。ただ当初 60 代前半だった里山和楽会のメンバーも 11 年がたち、皆高齢化しています。今のままでは里山の整備をし続けることは難しいと思っています。この規模の里山をこのまま放っておくわけにもいかず、地域の方などに声をかけて里山整備を続けてくれる人が集まればと願っています。」

11 年間という長い時間をかけて、かがやきの森を今も整備し続けてくださっている道満さんと里山和楽会の皆さん。多忙な毎日の中、「毎週テニスを楽しんだり、いじめや虐待防止の電話相談員もしている」と笑顔で話してくださいました。これからもどうぞ宜しくお願い致します。

連載企画☆

かがやき神戸俳句コーナー

(テーマ：秋)

柿の種
果実の種と
思ってた

(俳句研究委員会 ビアンカ)



がんばるゾ
僕は仕事が
大好きさ

(だんだん 今井泰秀)



秋の夜に
すすき広がる
お月見だ

(つくしんぼ 青木康祐)



※かがやき神戸の利用者・職員から投稿された俳句の中から、選ばれた3作品です！

是非！ぜひ！

応援してください！

会の詳細、ご質問は、
かがやき神戸職員まで、
いつでもお気軽に！

あ・な・た・の・入会♪

「社会福祉法人かがやき神戸を支援する会」への入会のお願い

(年会費 1000円)

振込先：郵便振替 口座記号番号 00930-1-67354

加入者名 社会福祉法人かがやき神戸を支援する会



お待ちしております〜♪

☆あなたの一口が障がい者の生活を支えます。『きょうされん』の賛助会員にも、ご協力下さい☆

(年会費 個人3000円 団体6000円)

振込先：郵便振替 口座記号番号 00970-3-250425

加入者名 きょうされん兵庫支部

かがやき神戸を支援する会では、会報誌「かがやき」(年4回)を、

きょうされんでは、会報誌「TOMO」(毎月)を作成し、会員の皆様にお届けしています。

— 編集後記 —

秋の気配も次第に濃くなり、夜は虫の音が心地よい季節となりました。地域ふれあいまつりに参加させていただくのは今回が初めてですが、これまでの歴史を聞いたり、準備が進むにつれて、「楽しみ！」の気持ちが強くなっています。当日良い天気になることを願って、子どもと一緒にてるてる坊主を作りたいと思います。(三上)